

海外からの一種病原体の分与による検査体制等の充実・強化に関する
コメント

○ 大臣から、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な国からの訪日客が見込まれるという状況の中で、国民の生命と健康を守るため、海外からのウイルス一種病原体の分与を受けることにより、万が一の場合を想定して検査体制等の対策を十分なものとしておきたいとのお話をいただいた。

○ 大臣からは、市民の安全・安心を最優先に考えなければならないという私の考え、また、不安を感じているとの意見もあることから、それを取り除くための取組を具体的に進めていただくことを御理解していただいた上で、会談の中で私が申し上げた要望事項に対して、

- ・ 施設の運営に関しては、市民の安全・安心の確保を最優先に行い、安全対策や災害・事故対策及び避難対応の強化を進めること。
- ・ 施設の業務に関しては、感染者の生命を守るために必要な診断や治療等に関する業務に特化するとともに、分与について周辺住民の十分な理解を得るよう努めること。
- ・ 施設運営の透明性を確保するため、積極的な情報開示や地域とのコミュニケーションの強化に努めること。
- ・ 施設の移転に関しては、現在行っている厚生労働科学研究の終了後、「武蔵村山市以外の適地におけるBSL-4施設の確保」の検討を進め、検討組織に武蔵村山市の職員にも参画すること。
- ・ 施設及び施設周辺環境整備について、武蔵村山市の要望等を踏まえ、検討するとともに、その実現に向けて努力すること。

の確認をいただいたので、海外からの一種病原体の分与による検査体制の強化は、やむを得ないものと考えており、安全対策等について、国の責任においてしっかりと対応し、実施していただきたいと考えている。

○ なお、BSL-4施設の運営に当たっては、安全対策に関して万全の対策を講じていただくよう、改めて要望した。